

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2000-59652 (P2000-59652A)

【公開日】平成 12 年 2 月 25 日 (2000.2.25)

【出願番号】特願 平 10-224794

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/21

G 0 6 T 5/00

// H 0 4 N 7/24

【F I】

H 0 4 N 5/21 Z

G 0 6 F 15/68 3 5 0

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 14 日 (2005.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の画像データのノイズを除去して第 2 の画像データを生成するノイズ除去装置において、

上記第 1 の画像データに含まれるノイズデータを抽出するノイズデータ抽出手段と、

上記ノイズデータから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の信号レベル分布に基づいて上記注目画素をクラス分類することによりノイズクラスを決定するノイズクラス決定手段と、

上記ノイズクラス決定手段によつて決定された上記ノイズクラスに基づくクラスコードを生成するクラスコード生成手段と、

上記クラスコードに応じて予測データを発生する予測データ発生手段と、

上記予測データを基に上記第 2 の画像データの上記注目画素を予測演算する予測演算手段と

を具備することを特徴とするノイズ除去装置。

【請求項 2】

上記第 1 の画像データから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の信号レベル分布に基づいて上記注目画素をクラス分類することにより波形クラスを決定する波形クラス決定手段

を具備し、上記クラスコード生成手段は、上記ノイズクラス及び上記波形クラスからクラスコードを生成する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のノイズ除去装置。

【請求項 3】

上記第 1 の画像データから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の動き量に応じて上記注目画素をクラス分類することにより動きクラスを決定する動きクラス決定手段

を具備し、上記クラスコード生成手段は、上記ノイズクラス及び上記動きクラスから上記クラスコードを生成する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のノイズ除去装置。

【請求項 4】

上記第 1 の画像データから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の信号レベル分布に基づいて上記注目画素をクラス分類することにより波形クラスを決定する波形クラス決定手段と、

上記第 1 の画像データから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の動き量に応じて上記注目画素をクラス分類することにより動きクラスを決定する動きクラス決定手段と

を具え、上記クラスコード生成手段は、上記ノイズクラス、上記波形クラス及び上記動きクラスからクラスコードを生成する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のノイズ除去装置。

【請求項 5】

上記予測データは、

上記第 1 の画像データから選定された上記複数の画素に対応して存在する予測係数であり、

上記予測演算手段は、

上記クラスコードに応じて発生された上記各予測係数と上記第 1 の画像データの上記複数の画素とから上記第 2 の画像データの上記注目画素を生成する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のノイズ除去装置。

【請求項 6】

上記予測データは、

上記第 2 の画像データに対応する学習データを用いて予め生成されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載のノイズ除去装置。

【請求項 7】

第 1 の画像データのノイズを除去して第 2 の画像データを生成するノイズ除去方法において、

上記第 1 の画像データに含まれるノイズデータを抽出し、

上記ノイズデータから注目画素を含む複数の画素を選定し、当該複数の画素の信号レベル分布に基づいて上記注目画素をクラス分類することによりノイズクラスを決定し、

決定された上記ノイズクラスに基づくクラスコードを生成し、

上記クラスコードに応じて予測データを発生し、

上記予測データを基に上記第 2 の画像データの上記注目画素を予測演算する

ことを特徴とするノイズ除去方法。